

岡崎市図書館交流プラザ図書館システム

Library System for the Okazaki City Library and Community Plaza

岡崎市図書館交流プラザ(Libra：りぶら)のオープンに合わせて、従来の冊子体資料を中心とした図書館機能に電子図書館的機能を融合した、ハイブリッド図書館システムを構築した。

システムのベースには三菱図書館システム“MELIL/CS(メリルCS)”を用いた。新機能の各サブシステムを実現するに当たり、資料の個体識別管理を従来のバーコードからICタグへ移行した。ICタグの採用と、“自動貸出し装置”“自動出納書庫”“自動仕分機”などの機器導入及びシステム化によって、各業務のスピード化やオペレーションの簡素化を果たすことができ、利便性が向上するとともに、図書館規模拡大に伴う運用コスト増を抑えることができた。

また、徳川家康、菅江真澄をはじめとする岡崎市ゆかりの図書資料のデジタル化を行い、原資料の保護と利用促進

効果を高めることをねらいとして、郷土資料のデジタルアーカイブ・システムを実現した。



岡崎市図書館交流プラザ図書館システム

<取り扱い：三菱電機インフォメーションシステムズ㈱ TEL：052-212-1637>

通話の音声認識によって業務効率化を図るボイスロギングシステム

Voice Logging System Using Speech Recognition Technology

多くの金融機関では、企業防衛やコンプライアンスを目的として、顧客との通話を録音・管理している。しかし、大量の通話チェック業務に多大な労力がかかっており、チェック対象の妥当性や網羅性に課題を抱えている。

音声認識ボイスロギングシステムは、これらの課題を解決するために開発したもので、次のような特長がある。

(1) 機能面

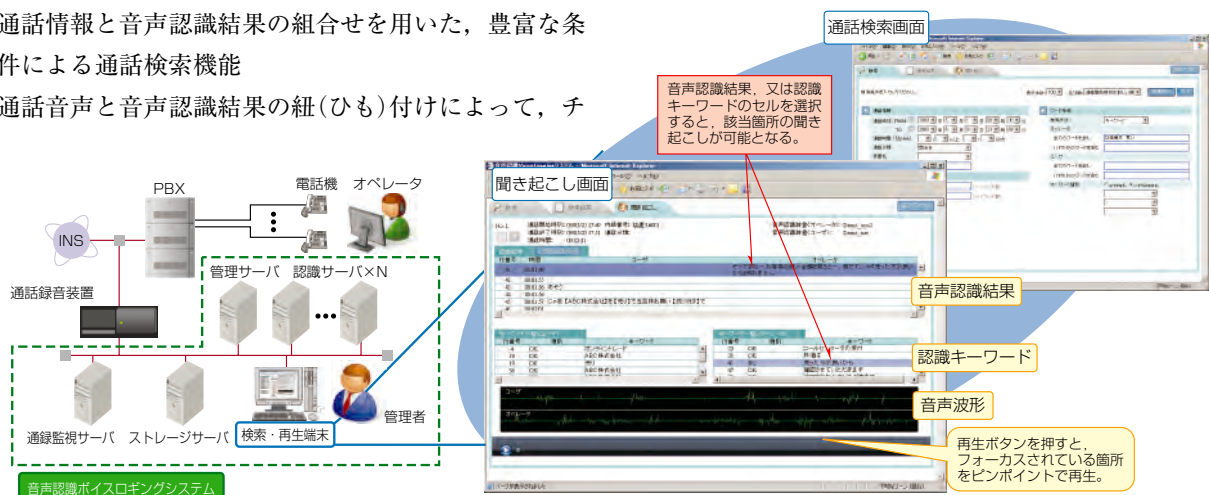
- ①音声認識された複数の重要キーワードとその属性を用いた、問題通話の抽出機能
- ②通話情報と音声認識結果の組合せを用いた、豊富な条件による通話検索機能
- ③通話音声と音声認識結果の紐(ひも)付けによって、チ

ェック箇所をピンポイントで聞き起こし可能にした通話再生機能

(2) システム面

- ①Webシステム化による、操作性・保守性の向上
- ②音声認識処理量に対するスケーラビリティの実現
- ③単語概念を用いた効率的な音声認識辞書生成手法による、初期導入期間の大幅短縮

また、音声認識辞書の生成・追加学習手法を確立しており、チューニングのしやすさも特長の一つである。



INS：Information Network System
PBX：Private Branch eXchange

音声認識ボイスロギングシステム

統合ID管理ソリューション“iDcenter”

Integrated Identification Management Solution "iDcenter"

近年のセキュリティ脅威の増大に対して、企業は入退室管理や情報漏えい対策等の各種対策システムを導入してきた。しかし、これらは独立して運営されてきたため、ID情報変更の負荷や変更ミス等のリスクが課題となっている。

これらの課題を解決するため、人事情報と権限情報からなるID情報を一元管理し、各種システムに配信する統合ID管理ソリューション“iDcenter”を開発した。主な特長は次のとおりである。

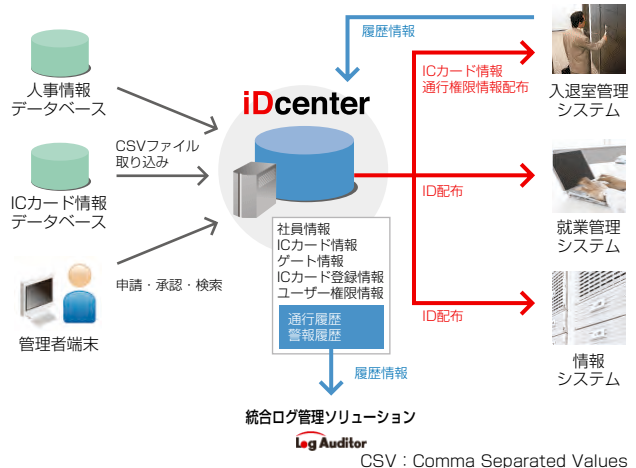
(1) ID情報の一元管理

人事システムとの連携で個人識別情報を取り込み、入退室管理システム、情報システムのID情報を一元管理する。面倒な認証をすべて社員ICカードで行えるので、社員には快適な利用環境を提供しつつ、強固なセキュリティレベルを実現できる。また、ID情報の同期を確保するとともに、登録作業ミスを減少させ、管理コストも低減できる。

(2) 入退室管理と各種情報システムとの連携機能

三菱入退室管理システム“MELSAFETY”の通行履歴情報を“DIGUARD NET”を通じて取り込み、就業管理シ

テムやパソコンログイン管理などの情報システムと連携が可能である。また、セキュアプリンター、喫食システム等とも連携することができ、利便性とセキュリティ確保を両立させたシステムを構築することができる。



iDcenterの概念図

<取り扱い：三菱電機インフォメーションテクノロジー(株) TEL：03-6414-8236>

仮想化によるサーバ統合を実現するソリューション&サービス“VMINTEGRA”

Platform Integration Solution "VMINTEGRA"

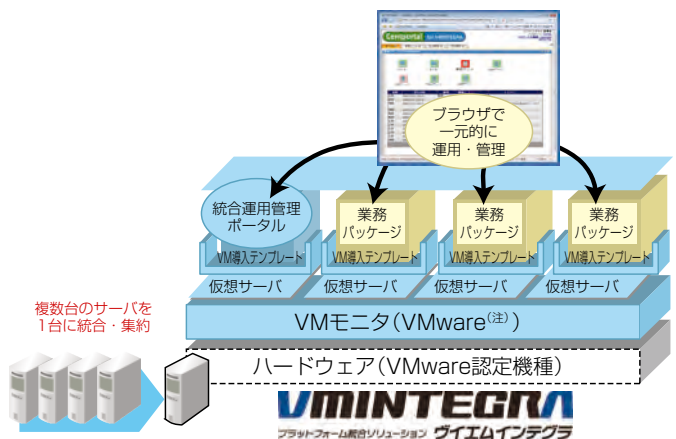
プラットフォーム統合ソリューション“VMINTEGRA”は、設計済みの仮想化環境を標準搭載し、サーバ統合に伴い必要となる運用監視機能とサポート&サービスをオールインワンで提供する製品である。

あらかじめ仮想化環境を設計・最適化済みのVM (Virtual Machine) 導入テンプレートを利用することで、中小規模システムでも仮想化によるサーバ統合を短期間・低コストで実現可能である。さらに、著名業務パッケージをVMINTEGRA仮想環境上で動作検証済みであり、各種業務パッケージを簡単に仮想環境に移行できる。

また、サーバ統合後のシステムを効率的に運用管理・監視する専用ミドルウェアを標準装備することで、統一的なシステム操作環境を提供し、ハードウェアを含むシステム全体の監視や障害の自動通報も行える。

一般に、仮想環境では障害発生時の切り分けが困難であるが、万一の障害発生時には、三菱電機インフォメーションテクノロジー(株)の専用サポートセンターで一次解析を行

い、必要に応じて各ベンダーにエスカレーションするという、効率的かつ迅速なワンストップ・サービスを提供する。



VMINTEGRAのシステム構成

<取り扱い：三菱電機インフォメーションテクノロジー(株) TEL：03-6414-8052>